

冠動脈における光干渉断層法による脂質性プラークの特徴の検討研究：病理像との比較

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	冠動脈における光干渉断層法による脂質性プラークの特徴の検討研究：病理像との比較
倫理審査 受付番号	第3766号
研究期間	2021年 4月倫理審査承認日～2023年 3月31日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に循環器内科を受診された、心臓死・非心臓死の方 2013年 6月 4日～2017年 9月19日
研究に用いる 試料・情報	試料等、カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義)

冠動脈の動脈硬化が進行することで狭心症や心筋梗塞といった疾病が引き起こされます。動脈硬化早期では泡沫細胞の集簇を認める脂質性プラークの形成を認め、進行期では壊死性コアを含む脂質性プラークの形成を認めます。日常臨床において光干渉断層法（optical frequency domain imaging: OFDI）は冠動脈の組織性状を評価する目的で使用されています。しかし、OFDI画像では脂質性プラークは早期も進行期も境界不明瞭な低輝度領域として同じように見えるため、解釈が困難なことがあります。本研究の目的は剖検例から得られた冠動脈のOFDI画像と病理像を比較することで、脂質性プラークのOFDI画像の特徴を検討します。

（研究の方法）

兵庫医科大学病院で行われた剖検症例に対して生体外で行われたOFDIのイメージング画像、および、その後に作製された病理切片画像を比較検討することでOFDI画像の脂質性プラークの特徴を検討します。

年齢、性別、死亡時診断名、病理解剖で得られた冠動脈病理画像、剖検後に取得された血管内光干渉断層画像を調査します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 循環器内科
石原 正治（研究責任者）
今仲 崇裕（研究担当者）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
TEL | （平日 9:00~17:00） 0798-45-6553